

2号機復水器内ホットウェル天板上部 貯留水水抜実績について

2017年4月27日

TEPCO

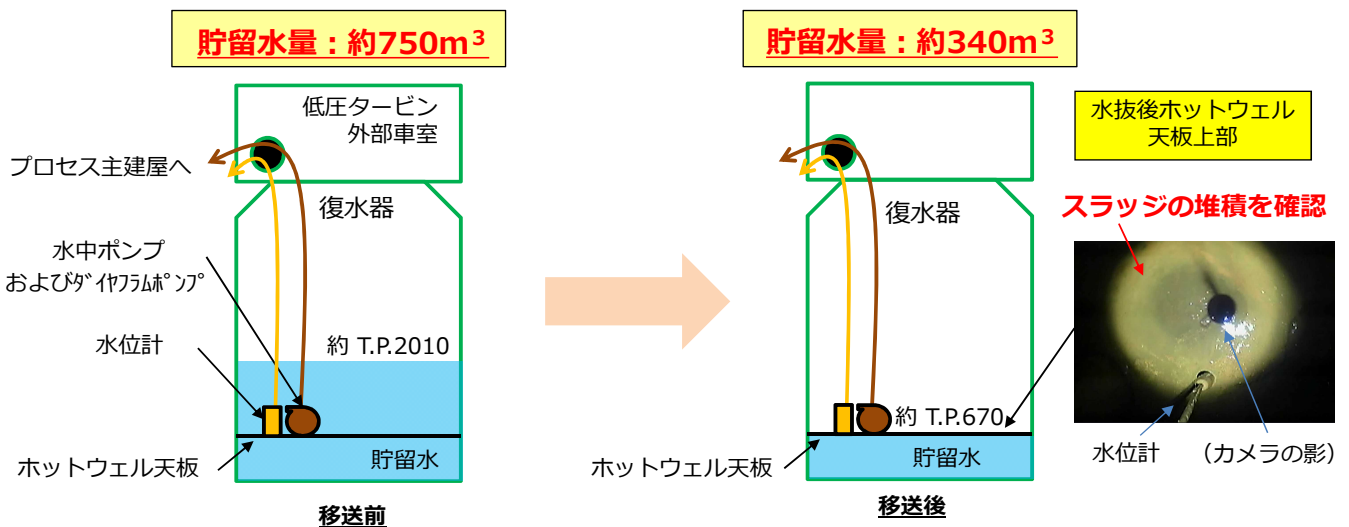
東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

1. 2号機復水器内貯留水水抜実績について

TEPCO

- 2号機復水器内ホットウェル天板上部まで貯留水の水抜が完了。
実施期間：2017年4月 3日～2017年4月13日（移送）
2017年4月14日（カメラにて水抜状況を確認）
- 今後、遠隔カメラ等を使用し復水器内構造物等の調査を実施し、ホットウェル天板下部の水抜方法を決定する。



©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved. 無断複製・転載禁止 東京電力ホールディングス株式会社

- 今後、2号機の調査と並行して、3号機の復水器内ホットウェル天板上部までの水抜準備を実施する。

作業内容		1月	2月	3月	4月	5月	6月
現場調査		■			現在		
2号機	ポンプ設置、移送ライン敷設			■			
	ホットウェル天板上部水抜				■		
	復水器内構造物の調査および ホットウェル天板下部水抜方法の検討				→		
3号機	ポンプ設置、移送ライン敷設				■		
	ホットウェル天板上部水抜						■

【参考】 2号機復水器内貯留水の放射能濃度について

- 貯留水の放射能濃度について、水抜前、水抜中にサンプリングを実施した結果を以下に示す。
⇒貯留水の放射能濃度に有意な変化がなかったことから、放射能濃度は概ね均一であることを確認した。

復水器内貯留水放射能濃度の推移

採取日	2016.12.20 【水抜前】	2017.4.5 【水抜中】	2017.4.12 【水抜中】
貯留量【m ³ 】	約 750	約 700	約 400
放射能濃度 (Cs137) 【Bq/L】	約 5.0×10 ⁸	約 5.1×10 ⁸	約 5.0×10 ⁸

※サンプリングはいずれも復水器(B)より実施

- 2号機復水器内貯留水はプロセス主建屋に移送し、2017.4.6より第二セシウム吸着装置にて処理を行った。移送による影響を確認するため、移送前後にわたって第二セシウム吸着装置入口水（プロセス主建屋内滞留水）のサンプリングを実施。その際の放射能濃度を以下に示す。
⇒移送前と比較し、移送中・後はCs137の濃度上昇が見られたが、吸着装置の運転に影響を及ぼすものではなかった。

第二セシウム吸着装置入口水放射能濃度の推移

採取日	2017.3.7 【移送前】	2017.4.7 【移送中】	2017.4.11 【移送中】	2017.4.14 【移送後】
装置入口水（Cs137）【Bq/L】	4.2×10^7	5.1×10^7	6.2×10^7	6.0×10^7